



平成19年度文化庁
芸術創造活動重点支援事業

萬狂言

Yorozu kyogen

at National Nogakudo in Tokyo

冬公演



二〇〇八年二月六日(日)
開演／午後二時三〇分

会場／国立能楽堂

萬狂言

冬公演

素囃子「神舞」

柿原 弘和
幸 正昭
三島 卓
一噌 幸弘

「末広」 山本 則直

山本泰太郎
山本 則俊

新作狂言

「鬼は内」 野村 扇丞

作/中谷智喜
演出/野村万蔵

「花子」 小笠原 匡

野村 万蔵
野村 万蔵



ご挨拶

平成十九年度の萬狂言本公演は、古典の名作と一般公募による新作を上演してまいりました。

締めくくりとなる冬公演では、山本東次郎家より山本則直師、則俊師、泰太郎師のご出演を仰ぎ、お正月に相応しくお目出度い演目「末広」を選曲致しました。

また、秘曲として扱われる「花子」を、この度小笠原匡が披きます。そして一般公募による新作狂言の

第四作目は「鬼は内」を上演いたします。皆様お誘いあわせの上、是非萬狂言冬公演にお運びいただければ幸いです。

萬狂言



◆末広 すえひろがり

ある果報者が、太郎冠者に命じて進物用の末広がり(扇のこと)を買求めに都につかれます。末広がりがかかると知らぬ太郎冠者は、大声で「末広がり買おう」と呼び歩いていると、すっぱ(詐欺師)に呼び止められ、末広がりだといって傘を売りつけられてしまいます。傘を買って戻った太郎冠者は果報者の主人に叱られますが、すっぱが主人の機嫌の悪い時に囃すようにと教えてくれた囃子物を囃してみると…。

◆新作狂言 鬼は内 おにはうち

広く一般より原案(ないし台本)を公募し、野村万蔵が新作狂言に仕立てて上演する試みの第四作目となります。作者は中谷智喜さんで、節分をテーマにした作品です。

◆花子 はなこ

洛外に住むある男が、東国に下った時になじみになった花子という女に会いに行くため、妻には一夜の座禅をすると偽り、太郎冠者を身代わりに出かけて行きます。妻が様子を見に行き座禅は偽りだったと分かると、今度は太郎冠者と入れ替わって男の帰りを待ちます。帰ってきた男は、妻とは知らずに花子との一夜のこと、妻の悪口を語り始めます…。

◆公募新作について

平成19年度の企画として、広く一般の方々よりお寄せいただいた原案(ないし台本)から、九世万蔵が新作狂言に仕立て上げ上演する試みを行なってまいりました。募集当初から、皆様よりたくさんのご応募をいただきまして誠にありがとうございました。ここに、採用させていただきました作品をご紹介します。

- 春公演「瓢箪」(作:横山一真/演出:台本補綴:野村万蔵/台本補綴:野村扇丞)
- 夏公演「鳴大家守」(作:やまざわちひろ/演出:台本補綴:野村万蔵/台本補綴:小笠原匡)
- 秋公演「きれい好き」(作:中村朋子/演出:野村万蔵、野村万蔵/台本補綴:野村万蔵、小笠原匡)

※場内での撮影、録音および携帯電話のご使用は固くお断り致します。

萬狂言 冬公演

2008年 1月6日(日)

開場 午後1時45分/開演 午後2時30分

会場 国立能楽堂

S席 9,000円

A席 7,000円

B席 5,000円

※ACT.JT会員は一割引

※未就学児入場不可

後援:社団法人日本ユネスコ協会連盟
ACT.JT法人会員

◆チケット取り扱い窓口

イープラス
<http://eplus.jp>

チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード:381-359)

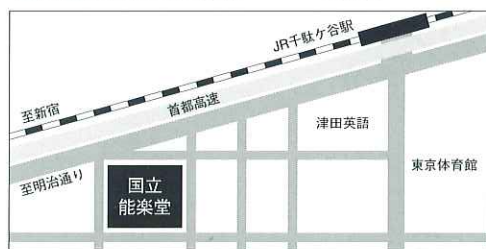
ローソンチケット 発売日からローソンのLoppiで直接購入できます。
0570-084-003 (Lコード:39785)
0570-000-407 オペレーター対応(10:00~20:00)

萬狂言事務局 03-5363-1305

国立能楽堂

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
TEL.03-3423-1331(代)

●お願い
能楽堂の敷地内には駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さるようお願い申し上げます。



お問合せ 萬狂言 事務局

TEL.03-5363-1305
FAX.03-5363-1316

info@tmdnet.jp
<http://www.tmdnet.jp>